

【教育スローガン】(H26年度より)

夢 努力 思いやり
笑顔と感動が広がる校舎

〈本校の学校経営〉

1 目指す学校像・教職員像

目指す学校像	目指す教職員像
(1) 自校の教育活動を誇れる学校	(1) 自己研鑽、工夫と改善に努める教職員
(2) 活気あふれる学校	(2) 生徒に安心・安全を与える教職員
(3) 地域とともに成長する学校	(3) みんなで取り組む教職員
	(4) 家庭・地域・社会に信頼される教職員

2 教育目標具現化のための努力点・具体策

※ (1)～(3) は教育目標

①～③ は努力点

() 内は 主な具体策

(1) 「自ら考え学ぶ生徒」の育成に向けて

① 望ましい学習習慣・学習態度の育成

ア 「3分前入室」「1分前自習開始」等、授業や学習に臨む態度の徹底を図る。(『学びの基本』の活用)

イ 家庭や小学校と連携して家庭学習の充実を図る。(小中一貫教育の推進、『学習強調週間』の実施)

ウ 学業指導(「学びに向かう集団づくり」と「生徒が意欲的に取り組む授業づくり」)の充実を図る。

② 生徒の関心・意欲を高め、主体的・対話的に学ぶ授業の改善

ア 身に付けさせたい力を明確にし、ねらいの提示から振り返りまで、目標・指導・評価の一体化を図る。(『とち介の学び』の具現)

イ 課題や場面設定の工夫・教材・ICT機器の活用により、「できた」「わかった」「自分の思いや考えが伝わった」ことの楽しさ・面白さが実感できる指導の工夫を行う。

ウ ユニバーサルデザインの視点に立ち、一人一人の教育的ニーズに応じた指導の工夫を行う。

エ 一人一端末を活用し、生徒一人一人に個に応じた指導、及び情報活用能力の育成に取り組む。

オ 他者と協力して課題を解決する活動を積極的に取り入れ、「教え合い」、「学び合い」を通して学力向上を目指す。

③ キャリア教育・グローバル教育の充実

ア 進学指導に留まらず、社会的・職業的自立に向け、基礎的・汎用的能力を育成するための組織的・系統的な指導を行う。(特別活動・総合的な学習の時間の充実、職場体験学習の実施)

イ 多様な他者と協働して課題を解決できる生徒を育成するためのプログラムを計画・実践していく。

(各教科・ふるさと学習・コミュニケーション活動等の充実)

(2) 「心身ともにたくましい生徒」の育成に向けて

① 安全教育・安全管理・組織活動の推進

ア 生活安全、交通安全、災害安全に向けた安全学習と安全指導を、系統的・計画的に行う。(『栃木市防災教育基本プログラム』を活用した教科等における学習、交通指導集会・多様な避難訓練等の実施)

イ 教職員の危機意識の高揚、危機管理マニュアルの理解の深化・改善を図る。(安全点検の実施、校内研修の工夫)

ウ いじめ・不登校に対し、未然防止・早期発見・早期対応を組織的に図る。(『いじめ・自殺防止基本方針』の理解と活用、生徒指導部会の定期的開催)

エ 不登校生徒や教室には入れない生徒への支援を、保護者や外部機関と連携を密にとって組織的に丁寧に行い改善を図る。

② スポーツの意義や楽しさを実感できる授業・行事・部活動等の工夫

ア 身に付けさせたい力を明確にし、ねらいの提示から振り返りまで、目標